

お お た ば し
太田橋

中部地方の
選奨土木遺産

所在地：岐阜県美濃加茂市 竣工年：大正15年 管理者：美濃加茂市

認定理由：中山道の難所の一つである木曾川太田の渡し跡に架けられた単純ワーレントラス鋼橋で、地域の発展を語るのに欠くことのできない存在である。

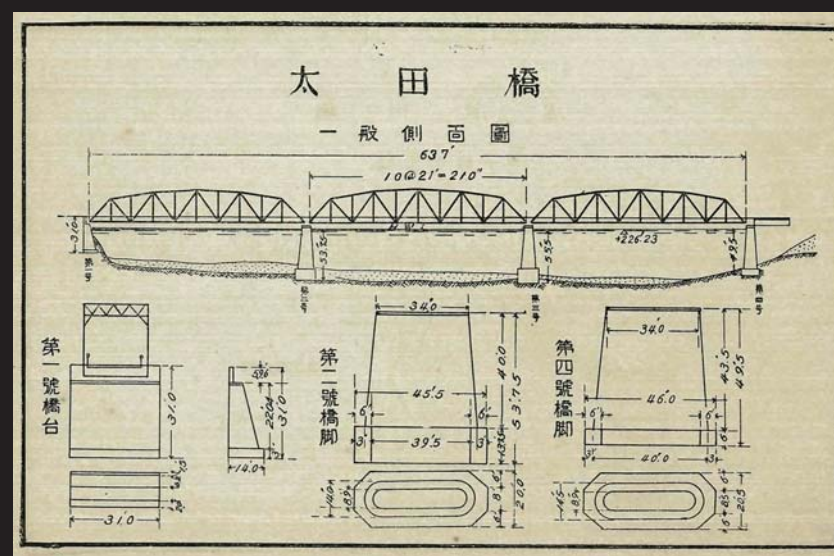
平成 23年度登録



可見市側から美濃加茂市方向を見る



荘厳な親柱（上）装飾的な橋門構（下）



『本邦道路橋輯覧』（大正15）に掲載される太田橋一般図

中山道には古来「木曾の棧 太田の渡 碓氷峠がなくばよい」と云われた三大難所があった。念願の橋は、当時の国道第14号線として建設された。鋼鉄によるワーレントラスの三つ連続する「堂々たる雄姿」は、木曾川のライン下りの名声とともに謳われると地元の評価が非常に高い。周囲一通りの工事が竣工する昭和4年には、竣工の祝賀式が盛大に開かれ、県土木課長・知事・内務省土木局道路課長（来賓）らを始め関係した要人を集めたほか、花火・素人角力・獅子舞・餅投げ・変装行列・宝探し等各種催しで賑ったことが伝えられる。



銘板「大阪市大阪鉄工所制作大正十五年」

